

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1156	(H.24)No.	1156
-----------	------	-----------	------

事務事業名	中学校教育振興費(学務管理室)		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学務管理室	中谷 恒雄	

会計区分	事業コード	481001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 教育費	中学校教育振興費	
項 中学校費	(小事業名)	
目 教育振興費	中学校教育振興費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
<ul style="list-style-type: none"> ・理科・数学に関する生徒の良好な教育環境の整備 ・学校部活動の健全な発展と充実、運動部活動の振興と生徒の健全な心身の育成 ・長瀬地区等から名張中学校に通学する生徒の通学手段・安全の確保

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<理科・数学教材備品>中学校3校 1,654千円<体育・文化クラブ報償>体育4,983千円、文化821千円<中学校体育連盟等負担金>2,082名分:1,666千円<長瀬・滝之原地区臨時バス運行委託>年間208便運行 1,168千円<就学援助>15,447千円(対象者267名、学用品費等15,172千円、医療費276千円)<特別支援教育就学奨励費>693千円(対象者24名)<その他報償>卒業証書丸筒77千円<H25年度への繰越明許費>(理科・数学教材備品)中学校1校 375千円	【H25より扶助費分は「No.2156:中学校教育振興費(扶助費分)】 (体育・文化クラブ報償)体育5,175千円、文化800千円(中学校体育連盟等負担金)2,150名分:1,720千円、三重県中学校総合体育大会開催地負担金 200千円(長瀬・滝之原地区臨時バス運行委託)200便運行(年間予定)1,155千円(その他報償)卒業証書丸筒111千円

事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・国補助金活用による理科・数学の教育設備整備 ・中学校体育連盟等主催の大会参加の旅費等支給 ・中学校体育連盟等への負担金交付 ・名張中学校から長瀬地区等への帰宅時通学バス(臨時便)の運行

H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
理科・数学教材備品(中学校4校)、体育・文化クラブ報償、負担金(中学校体育連盟等・県中学校総体開催)、長瀬・滝之原地区臨時バス運行委託	理科・数学教材備品(中学校4校)、体育・文化クラブ報償、負担金(中学校体育連盟等・県中学校総体開催)、長瀬・滝之原地区臨時バス運行委託	理科・数学教材備品(中学校4校)、体育・文化クラブ報償、負担金(中学校体育連盟等・県中学校総体開催)、長瀬・滝之原地区臨時バス運行委託

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	26,509千円	9,161千円	11,171千円	11,378千円	11,378千円
内訳(千円)					
国・県支出金	1,236		1,000	1,100	1,100
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 25,273	9,161	10,171	10,278	10,278
人員					
職員	0.68人	0.21人	0.21人	0.21人	0.21人
臨時職員等	0.04人	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人
概算人件費	(0千円) 5,304千円	1,651千円	1,651千円	1,651千円	1,651千円
+ 総事業費	(0千円) 31,813千円	10,812千円	12,822千円	13,029千円	13,029千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
<ul style="list-style-type: none"> ・理科教育設備備品は、国庫補助金を活用し、年次計画的に整備を進めていますが、依然として国の充足率を満たしていないことから、引き続き対応が必要です。 ・臨時バス運行については、市の財政状況等を踏まえ、公共交通機関を生徒の通学手段としている現状にあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育設備備品については、限られた予算の中で、国庫補助金を活用し、優先度や必要性の高い設備備品の整備を促進していきます。 ・スクールバス等代替手段の導入が困難な中、生徒の教育面、生活安全面等への影響を可能な限り少なくするため、引き続き臨時バス運行の取組を進めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	設備備品や通学手段など、生徒の教育環境を整備することで、より円滑な学校教育の実施を図ることができました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
--	---------------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由
生徒の教育環境を整え、円滑な学習指導を実施するため、継続して設備備品の充実・整備や部活動の支援、適切な通学手段の確保を進める必要があり、現行通り継続して事業を行います。

6. 事務事業の取組に係る主な市の計画

--